ながまち荘だより

VOL 59

2026年も
宜しくお願い
いたします！

ひなまつり行事を
開催しました！

ブログも随時更新中！
ぜひご覧ください。

左の二次元コードを
読み取っていただくか、
下記でご検索ください。

ながまち荘 ブログ

編集発行 社会福祉法人 恩賜 済生会支部山形県済生会 特別養護老人ホーム **ながまち荘**
〒990-0811 山形市長町751番地
- 指定介護老人福祉施設 TEL(023)684-2391(代表) FAX(023)684-2394
- 指定短期入所生活介護事業所 TEL(023)681-5732
(介護予防短期入所生活介護事業所)
- 指定通所介護事業所 TEL(023)681-7589
(介護予防通所介護事業所)
- 済生会なでしこ地域包括支援センター
TEL(023)681-7450 FAX(023)681-7603
- 指定居宅介護支援事業所 TEL(023)681-2865
- おれんじサポートチームえがお
(認知症初期集中支援業務・認知症地域支援推進業務)
TEL(023)687-0200 FAX(023)687-0211

発行責任者 施設長 岩崎勝也
発行日 令和8年3月吉日
印　刷 コロニー印刷

E-mail nagamachiso@yamagata-saiseikai.org

施設長挨拶

「変化の時代に、選ばれ続ける場所であるために」

特別養護老人ホームながまち荘 施設長
岩崎 勝也

日増しに暖かくなり、ここ山形でも雪解けが進み春の訪れを感じる季節となりました。

皆様におかれましては、健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。また、平素より当荘の運営に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先日発表されました厚生労働省の調査によりますと、全国の特別養護老人ホームの待機者数は2022年の前回調査時より約5万人減少し、22万5千人となっております。東京都では依然として1万8千人を超える方々が待機している一方で、地方都市では待機者が1、000人を下回る県も出てきており、介護ニーズは地域によって二極化が急速に進んでいる状況にあります。

ここ山形県においても待機者数は3、076人（要介護3以上）で、人口減少や介護ニーズの変化の影響を色濃く受け、待機者数の減少が顕著であり、私たちにとってこの数字はまさに「死活問題」とも言える厳しい現実を突きつけられておりますが、私たちはこれを単に危機の予兆とは捉えておらず、「選ばれる施設」になっていくための魅力をさらに磨いていく大きなチャンスと前向きに捉えているところでございます。

これまでのように施設に入ることを「待つ」時代から、ご本人やご家族が「どのような環境で、どのようなケアを受けたいか（受けさせたいか）」を自ら「選ぶ」時代へ変わってきています。私たちは待機者数の多寡という数字に一喜一憂するのではなく、ご利用者の方々が安心して生活できるように、ケアの質をより究め、これまで以上にきめ細やかに一人ひとりに寄り添い、個々の生きがいや主体的な暮らしを支えていくことで、「ながまち荘を選んで本当によかった」「ここで過ごせてよかった」と心から思っていただける心地よく、温かい居場所になるよう、職員一同、より一層の研鑽を積んでまいる所存です。社会情勢が激しく変化する今だからこそ、変わることのない「人のぬくもり」「やさしさ」を大切にしてまいります。今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

ケアフォーラムにて研究発表

2月1日、山形県済生会の福祉施設・訪問看護ステーションによる研究発表大会「山形県済生会ケアフォーラム」が、やまのべ荘で開催され、各施設から全8チームが参加しました。当荘からは「明るく、楽しく、元気よく～Aさんの思いを引き出す支援～」を研究テーマとして、発表を行いました。認知症状に対する不安、BPSDの背景要因を分析し、その人らしく暮らして頂けるよう全職員で取り組みを行いました。審査の結果、努力賞を受賞しました。審査員からは「今回の研究発表を是非今後のより良い支援に繋げてほしい。」等の講評をいただきました。認知症の進行を遅らせるポイントは、薬の内服が2割、適切な関わりが8割であると言われています。今回の研究を通して、認知症の方への適切な関わり方やその人を理解する大切さを学ぶことができました。

（介護職員　齋藤　千聖）

第二回 荘内学会開催!!

昨年度に引き続き、今年度も11月11日〈介護の日〉に荘内学会を開催しました。学会の目的は「サービスの質の向上と組織の活性化」。今年度も多くの職員が集まり、日頃の取り組みや工夫を共有する時間となりました。今回は新しい試みとして"職員からの事前投票"を行い、発表前から各委員会の活動に関心を持っていただけるよう工夫しました。最優秀賞は誰の手に？

発表は 4 つの委員会から

ソーシャルインクルージョン計画推進委員会

「認知症と共に生きる～ ながまち荘の地域貢献で地域を笑顔に」

開催した講座の受講生の「受講前後の認知症についての意識の変化」からみえた「わたし達ができる地域貢献」とはなにかについての実践紹介。

太田介護員・岸介護員

個別ケア検討委員会（兼）給食委員会

「〝食べる力〟が生きる力に― 健康寿命を支える食支援の記録」

食事量が減った入居者様の対応について。
目的別に栄養補助食品を活用し健康状態を改善した成功例の紹介。

會田介護員

認知症チームケア推進委員会

「認知症の人の共生社会の実現に向けて」

対応が難しい認知症の方の行動・心理症状について職員が学ぶ機会を確保し、学んだ事を実践した事例を紹介。

武田介護員

環境整備委員会

「ながまち荘を整える活動 Part2」

整理・整頓・清掃・清潔を習慣づけし職員の自発的な職場環境改善の意識向上を図る為に行なった事例の紹介。

勅使河原介護員　アグス介護員

最優秀賞に輝いたのは

どの発表も、入居者様や地域の方々への思いが込められていて、聞いている私たち職員の心に響く内容でした。そして**最優秀賞**には**『個別ケア検討委員会(兼)給食委員会』**が選ばれました！

入居者様の「食べる力」を支える工夫や栄養補助食品の活用を通じて、健康寿命を延ばす取り組みが高く評価されました。来年度も11月11日〈介護の日〉に開催予定です。

これからも学びを重ね、**「地域と共に歩む介護サービス事業所」**を目指してまいります！荘内学会、ケアフォーラムの発表資料は、荘内に掲示しておりますので、是非ご覧ください。

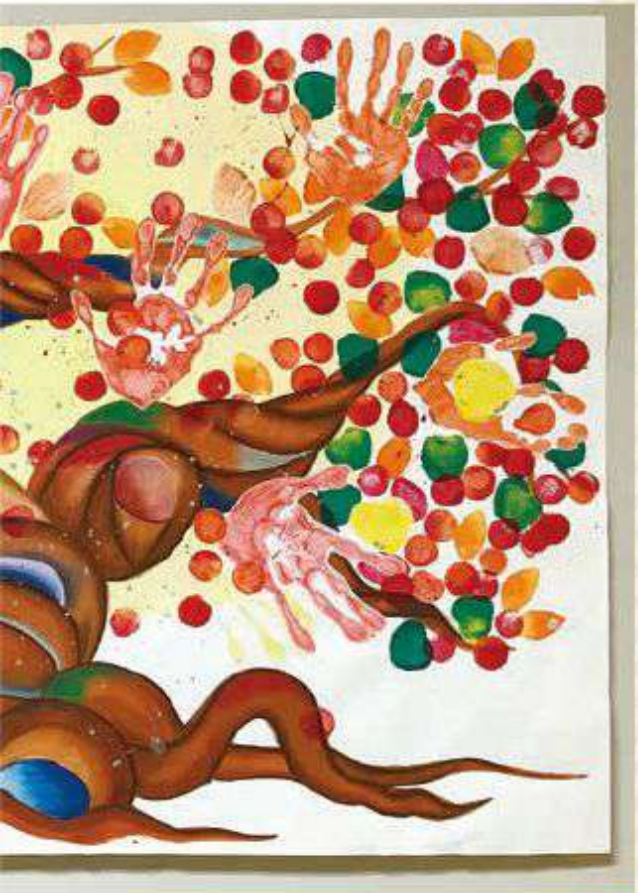
最優秀賞の表彰

おめでとう!

発表者一同

祝ながまち荘 敬老会

紀寿5名、白寿2名、米寿2名の方々と笑歌会様がなつかしい民謡等を5曲、や踊りを披露し、お祝いに華を添えて長寿をお祈り申し上げます。



敬老会に飾るために、入居者様全員参加で制作した「大樹」の絵。
臨床美術士の資格をもつ職員を中心に、みんなで仕上げた超傑作です!!

ホーム
（長期入所）

ながまち菜園

【枝豆収穫】
ながまち菜園で育てた枝豆を収穫。毎日利用者様と愛情いっぱい水やりし育てた枝豆。皆さんで美味しく頂きました!「最高だ」ととびっきりの笑顔です。
ながまち菜園では、枝豆の他にも、胡瓜やトマト、ゴーヤ、ジャガイモも収穫しました。

外　出

天童総合運動公園や山寺、護国神社に紅葉ドライブに外出しました!
今年は「熊」対策で短時間の外出となりましたが、皆さん楽しんでくださいました。

クリスマス会

ソリに乗ったサンタクロースとトナカイが登場!
職員特製のソリに入居者様も感心されていました。
職員がアコーディオンを演奏しました♪

獅子舞い

年男・年女の入居者様、施設長とともに荘内を巡り、今年一年の無病息災を祈りました。法被姿がお似合いです。

書き初め大会

今年の干支の「うま」、「立春」を皆さんで書き初めしました！
皆さん名人です！真剣な姿が印象的でした。

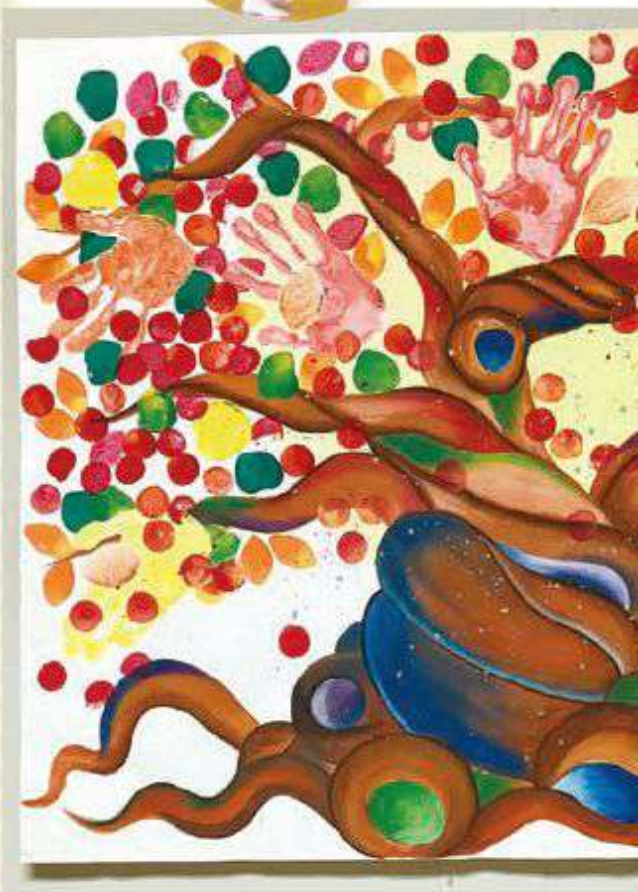
豆まき

赤鬼と緑鬼が登場！皆さん力いっぱい豆をまきました。

「鬼はそとー！福はうちー！」

敬老会

9月15日の敬老の日に敬老会を開催。入居者様全員の長寿をお祝いしました。当荘のミャンマー人職員2名が故郷の歌くれました。これからも皆さんの健康と



デイサービス（通所介護）

もちつき

1月6･7･8日の3日間「餅つき大会」を行いました！杵を持つ姿は真剣そのもの！
よいっしょー!! という声が響き渡りました！

団子木づくり

ご利用者様からついてもらった「もち」に色粉をいれて「団子木」づくりをしました♪
「昔は家で作るっけよ」「丸くてかわいいごど♥」と笑顔と会話があふれる時間になりました。

何気ない一瞬の中に、たくさんの笑顔と会話があふれていた2025年度。
こうした日々の積み重ねを大切に、これからも穏やかな時間を過ごしていただけるよう支援してまいります!

郊外活動

11月18日～26日までの期間、施設の給湯設備工事に伴い午後の入浴サービスをお休みいただき、ご利用者様には大変ご不便をおかけし申し訳ありませんでした。
11月24日～26日の3日間、その入浴の時間を活用して気分転換を兼ねて、山寺・芭蕉記念館へドライブに出かけました♪

クリスマス

クリスマスの週の午後のおやつにケーキが振る舞われました♪
行事を通して、季節を感じていただけたようです。

ショートステイ
（短期入所）

紅葉ドライブ

昨年秋は、熊出没が多発の為、車内から眺めていただく紅葉ドライブをおこないました。久しぶりの外出に皆さん喜ばれておりました。

クリスマス

「ケーキなんていつぶりだべ？」「甘くて美味いなぁ～」と皆さん笑顔で召し上がられていました。

獅子舞

あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

モルック

【フィンランド発祥の木製スポーツ】

モルックという木の棒を投げ、スキットルと呼ばれる木製のピンを倒して得点を競うゲームをしました。

初釜

「畳さ座るのなんて、久しぶりだなぁ～」
「やっぱり畳はいいなぁ。」
「どうすんだ？」「こーでいいんだが？」
などの声が聞かれました。

演奏会

2/7に山辺高校マンドリン部の生徒さんが来荘され演奏会が行われました。
素敵な音色に、皆さん聴き入っておられました。

節分

鬼に扮した職員に豆に模したボールを投げたり、こん棒で鬼退治をして、皆様の邪気を払い一年間の無病息災を願いました。